

セミナーのお知らせ

電気に基づく微生物生態系： 先端技術が解き明かす細胞外電子伝達と 電気共生のメカニズム

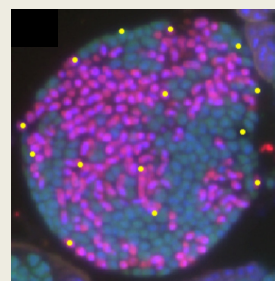
講師: Shawn McGlynn博士 (東京工業大学・地球生命研究所)
“Evidence for direct interspecies electron transfer in Anaerobic Methane Oxidizing Microbial consortia”

石井俊一博士 (海洋研究開発機構・高知コア研究所)
“Response to surface redox potential changes – Identification of EET mechanisms by using MetaOmics approach”

日時: 8月27日 (火) 13:30 ~ 15:00

場所: 研究4号館1階 セミナー室4

言語: 英語



講師紹介:

Shawn McGlynn博士は嫌気性メタン酸化アーキアと硫酸還元細菌が形成する微生物共生系をnanoSIMS等の先端分析技術を駆使して解析し、これらの微生物が電流を介してエネルギーを分け合っていることを発見する等 (Nature 2015 5526:531)、微生物生態学の分野で最先端の研究を展開されています。

石井俊一博士は微生物燃料電池等に形成される発電微生物群集を最先端のメタオミクス技術によって解析し、電極の電位に応じて発電菌の遺伝子発現と代謝活性が劇的に変化することを示す等 (Nat Commun 2013 4:1601)、微生物電気化学の分野を牽引する気鋭の研究者です。

本セミナーでは、これらの講師の方々に最新の研究成果をご紹介します。英語での講演を聴いてみたい学部生・大学院生の皆様のご参加も歓迎いたします。